

国際農学工学レポート

課題 八田與一のエピソードをまとめなさい

略歴

八田與一は、1886年2月21日石川県河北部花園村（現在の金沢市）に生まれる。石川県尋常中学校、第四高等学校（四校）を経て、1910年に東京帝国大学工学部土木科を卒業後、台湾総督府内務局土木課の技手として就職した。当初は衛生事業に従事していたが、発電・灌漑事業に移った。そこで、桃園大川の水利工事を一任され成功したことで高い評価を受ける。その後、1939年台湾総督府に復帰し勅任技師として台湾の産業計画の策定などに従事したが、1942年太平洋戦争で死亡した。

日本よりも、台湾での知名度が高く、烏山ダムでは與一の命日である5月8日に慰霊祭が行われている。また、住民たちの働きかけでダム完成後の1931年に銅像が建てられた。

エピソード

八田與一の台湾での業績をたたえ文部科学省選定のアニメーション映画が2008年に公開された。あらすじは、日本統治時代初期、台湾南西部に位置する嘉南平原は雨量が少なく灌漑設備がなかったことから、不毛の大地と呼ばれていた。台湾総督府から派遣された與一は灌漑施設を造る計画を立てる。その信憑性を疑う農民たちは、当初與一に対して敵意を抱く。その中の農民の子の一人だった、英哲や日本人の友人、ススムとの出会いののち工事を進めるが、突然の事故が…。

と映画の宣伝のようになってしまったが、この部分だけでもわかるように異国の地で何か大きな事業を行おうとするとどんな技術者であっても苦勞する。大きな困難に直面してもこの映画のキャッチコピー『夢をあきらめるな』を忘れずに頑張っていければなあと思った。続きが気になるので長期休みのときに一度映画を見てみたい。

引用元: http://library.isce.or.jp/Image_DB/human/hatta/

<http://www.mushi-pro.co.jp/>